

ラグビーワールドカップ 2019™ 釜石開催について

【要旨】

ラグビーワールドカップ 2019™ 釜石開催の成功に向けて、釜石開催実行委員会を中心に機運の醸成や受入態勢の整備を進めているところです。

今後、観戦客の県内周遊促進に向けた取組や、大会に向けた機運醸成、大会本番での売込み・賑わい創出の取組等を各市町村と連携して進めていきますので、御協力をお願いします。

1 観戦客の県内周遊促進に向けた取組

(1) 観戦客向けホームページによる宿泊・観光情報の発信

観戦客の方々を主たる対象としたホームページを作成（2月開設予定）し、多くの閲覧が見込まれる交通輸送の情報と併せて、宿泊検索サイトに掲載されていない宿泊施設の紹介など、きめ細かな宿泊・観光情報を発信

(2) 旅行者による観戦客と宿泊施設とのマッチング

県内宿泊施設への誘客を促進するため、観戦客の方々への宿泊の斡旋業務を希望する旅行者を募ってホームページで紹介し、観戦客と宿泊施設とのマッチングを推進

(3) 宿泊施設からのライナーバスの運行

ライナーバスの想定起点を速やかに宿泊施設等に提供し、宿泊施設の誘客活動を促進するとともに、近隣の宿泊施設でまとまった観戦客が確保可能な場合には、ライナーバスの起点を宿泊施設近郊まで延長

(4) 観戦客向け総合ガイドブックによる観光・物産情報の発信

大会期間中に長期滞在が見込まれるラグビーファンが多いイングランド、オーストラリアの試合が行われる札幌ドームをはじめ、国内 12 会場において、観光・物産情報等を掲載したガイドブック（日本語・英語版の合冊）を配架し、本県への周遊を促進

(5) ラグビーワールドカップ期間中における県内旅行商品造成の促進

ラグビーワールドカップ期間中に、観客の方々をはじめとする県外・海外の方を対象とした旅行商品の造成を促進

(6) 外国人観光客向け県内周遊パスの導入

県内の公共交通機関（JR 東日本を除く）が一定額で乗り放題となる外国人観光客向け「県内周遊パス」を導入（4 月から販売予定）

2 大会に向けた機運醸成／大会本番での売込み・賑わい創出の取組

【大会に向けた機運醸成】

(1) スクラムいわてフィフティーン

県内各市町村の協力を得ながら、各市町村が有するゆるキャラによるラグビーチームを結成したところ

釜石開催実行委員会が主催するイベントへの参加や、各市町村イベントへの派遣による大会機運の醸成



(2) 独自ボランティア「いわて・かまいしラグビー応援団」

多くの県民の方々に「いわて・かまいしラグビー応援団」に参加いただき、オール岩手での盛り上げ、おもてなし活動を推進（H30. 12 月末現在：60 団体、延べ 1 万 6 千人余）

【大会本番での売込み・賑わい創出】

(1) スタジアム、ファンゾーン、周辺イベントでの情報発信

大会公式ファンゾーンとなる釜石市民文化ホール等において、各市町村の飲食・物販・PRブースの出展、ステージイベントへの出展等、観戦客をターゲットとした県全体でのおもてなしと各種PRを実施

(2) パブリックビューイングの開催

スタジアムで観戦できない方も大会を楽しめるよう、既存の市町村イベント等と組み合わせた RWC2019 パブリックビューイングの開催を促進



【ファンゾーン会場：釜石市民ホール】



【ファンゾーン、周辺イベント（イメージ）】



【パブリックビューイング（イメージ）】

2 今後のスケジュール

年 月	内 容
～2019. 3. 31	チケット一般先着販売
2019. 7 月頃	スタジアム仮設部分（10,000 席）完成
2019. 7. 27	16,000 席でのテストイベント （パシフィック・ネーションズカップ 2019 日本代表 対 フィジー代表）
2019. 8 月	シティドレッシング開始
2019. 9 月	大会開幕（開催期間：9 月 20 日～11 月 2 日）
2019. 9 月	ファンゾーン設置
2019. 9. 25	フィジー 対 ウルグアイ
2019. 10. 13	ナミビア 対 カナダ